

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第24回会議 議事録

会議日	令和8年3月25日	会議時間	18:00	～	19:00
出席者	合計 27 名 (うち委員 15名、事務局 7名、設計業者 5名)				

### 案件

- (1) 実施設計説明書の確認  
【資料1-1～1-11】実施設計説明書抜粋
- (2) 国庫補助事業について  
【資料2】補助金採択パターンフロー図
- (3) 答申  
【資料3】答申書
- (4) その他  
【資料4】今後の見直しについて

### 議 事

#### 【開会】

[事務局]/開会の挨拶

「皆様、お晩でございます。お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。令和5年度から続いてきました本検討委員会も今年3年目となり、今回で最後の会となります。これまで皆様には、ご多忙の中ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

それでは、定刻となりましたので、第24回野辺地町統合小学校新築事業検討委員会を開催いたします。委員長に進行をお願いいたします。」

[委員長]

「それでは本日の案件に入っていきます。本日の案件は4件となります。

案件(1) 実施設計説明書の確認について、石川設計様からご説明をお願いします。」

[石川設計]

「皆様こんばんは。これまでに皆様と何度も協議を重ね、よりよい学校になるように考えを尽くし、いただいたご意見などを取り入れながら実施設計を進めてまいりました。無事に、法律の要件を適合させ、審査が下りた実施設計について、【資料1】とともに、今回は今までのような紙だけの2次元の確認ではなく、パース図、模型、部材サンプルを用いてご説明いたします。」

資料1-1～1-8説明

- ・校舎、児童館、グラウンド、駐車場、プレイフィールドの配置確認。
- ・南側プレイフィールドをアスファルト舗装とし、冬季の堆雪場所とする計画である。
- ・北側駐車場は、冬季堆雪場所となる箇所も一部あるが、一定数の台数の確保をする計画。
- ・セキュリティラインについて、当初メッシュフェンスで敷地全体を囲っていたものから、実際の運用とコストを考えよりコンパクトにし、校舎とグラウンド周りを囲う形に変更。グラウンド南西側には一部、防球ネットを設置。

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第24回会議 議事録

- ・校舎内水飲み場について、バランスよく教室周辺に配置し、特に2階については協議した内容を反映させ配置。

資料1-9～1-11、その他パース図を説明

### 校舎外部

- ・校門～メインアプローチ説明。西側幹線道路からの校門の見え方、駐車場とメインアプローチの間に植栽を整備する。
- ・北側プレイフィールドに鉄棒、雲梯、ブランコ、ジャングルジムを設置。
- ・南西側駐車場の出入り口にサインを設置。駐車台数約135台、バスロータリー、屋根付きのバス待ちエリアを設置。
- ・メインアプローチから校舎へのぼる階段には融雪装置を設置し、冬季の安全性を確保。階段南側にスロープを設置。
- ・メインアプローチと校舎の境にある法面は一部形を整え直し、芝生を植える。
- ・グラウンド南西側にスキー用具倉庫、グラウンド用具倉庫と2棟分割をし設置。
- ・グラウンド投光器の配置確認。
- ・グラウンド内、200mトラック、100mトラック確認。
- ・校舎の配色イメージ、柱と梁は白を基調とし、奥まった部分は違う色を参考例として提示。
- ・講堂内部の階段は外観上、時計塔となるように計画。
- ・校舎北側に児童館用の歩道、門扉を設置。

### 校舎内部

- ・校舎吹き抜け大階段は舞台としても使用可能にし、図書スペースとしても活用できるように本棚を設置。吹き抜け上部にはハイサイドライトを設置し、北側及び南側から採光を確保。
- ・大階段から見た、西側2階手すり付近に収納可能なロールスクリーンを設置し、発表会等で投影もでき、様々な場で使用可能。吹き抜け上部ハイサイドライトは電動でカーテンを閉めることができ、暗がりを作ることも可能。
- ・1階玄関ホールにベンチや展示用の高さ変更可能な棚を設置し、以前協議したような学校のメモリアルな物を展示できる。
- ・1階玄関ホール階段は北側からも南側からも昇降できるエックス形のような形状を計画。こちらにも上部にハイサイドライトを設置し採光を確保。
- ・大階段下DENスペースは1階低学年教室と近くなるように計画。木の幹や切り株のような形状の本棚を設置。一部、下に下がる段差を設け、静かにこもれる場や段差に腰かけて本に触れる使い方も可能。
- ・1階、2階共通の教室前の廊下空間について、天井にダクトや配管を現しとする計画。照明を大きな四角の枠の形状のものを提案。その照明が1つのクラスルームの単位を示し、教室前の廊下空間を多目的な次世代学習空間、第2の教室として使用を想定。そのため、教室廊下間仕切りも開放的な広いものを計画。廊下にも本棚を設ける。

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第24回会議 議事録

- ・教室前廊下に可動コート掛けを設置。
- ・協議により黒板ではなく白板を設置。
- ・講堂は校舎と一体型のため、東側と南側からの採光が中心となる。講堂床の素材は冷暖房設備を設置する関係で、従来のフローリング床ではなくビニール系の素材を使用。耐久性や弾力性に優れ、木のささくれ事故等の心配がなく、県内一部アリーナでも使われている実績のあるものを採用。
- ・教室、廊下の床もビニール系のものを使用。耐久性、メンテナンス性、コストバランスを考慮。一部、実際の木に触れられる場所として、腰かけられる大階段やDENスペースにはフローリング材やコルク床を採用。

### 児童館

- ・立地や雪処理の検討をし無落雪屋根を採用。小学校との形状の類似性もあり、つながりある関係性を表現している。児童館外観確認。
- ・児童館内部、多目的スペースについて説明。木造の建物で木の構造を現しにし、温かみのある空間となるよう計画。
- ・運用の条件から図書エリアを設置。境界の形成をやわらかみある丸い形状の本棚で計画。
- ・小学校、児童館共通でトイレの正面のアイキャッチはタイル素材を計画。
- ・北側の活動スペース、放課後児童クラブスペースの確認。

模型を用い、校舎を立体的に説明。

[委員長]

「ご説明ありがとうございました。今の説明について、質問や確認したいことはございますか。」

[委員]

「感想としまして、木材が多く使われているようで非常に良いと思いました。町政座談会での意見で新小学校のアピールできる点として、木材を多く使うなどの工夫をうまく取り入れたようで、とても良い印象を受けました。遊具に関してはこれから考えるのでしょうか。」

[石川設計]

「遊具に関しましては、北西側プレイフィールドにブランコ、雲梯、鉄棒、ジャングルジムを設置する計画となっております。」

[委員]

「子供の成長過程に必要な遊具であればいいなと思い聞いてみました。ありがとうございます。」

[委員]

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第24回会議 議事録

「他にご質問がないようですので、次の案件に進みます。次は案件(2)国庫補助事業について、事務局よりご説明願います。」

[事務局]/資料2 フロー図説明

- ・ R7年度文科省からR7年度事業の国庫補助の内示が出された
- ・ 負担金事業と交付金事業があり野辺地小の事業では交付金事業での申請を県とも協議し採択。理由としては、交付金事業だと解体工事の補助を多く受けられることなど。
- ・ 国当初予算における負担金の割合が大きく、例年以上の負担金事業の需要増が見られた。
- ・ R7年度国当初予算の国庫補助内定時点では交付金事業などの一部事業の採択を保留。
- ・ 交付金事業については、前年度補正予算に前倒しして計上することで対応。
- ・ R8年度に採択される事業であっても交付金事業は繰越したR7年度予算（本省繰越予算）にて措置する可能性が高い。
- ・ R7年度は新規の交付金事業の採択を見送っている。
- ・ R7年12月に出されたR8年度対象事業採択方針より負担金事業が優先的に採択を検討し、財源を確保できた場合は交付金事業も採択を検討するという形になった。
- ・ 平たく言うと国の方針が変わり、申請した補助金が下りない可能性が高い状況となった。
- ・ 今から申請の取り下げをし、再申請とすると事業開始が遅れ、工事費のコスト増となってしまうため、R8年4月の内示を待つという形である。
- ・ 町の対応としては補助金がついた場合とつかなかった場合の2パターンの方針を考えている。
- ・ ついた場合は予定通り工事発注へと移り、つかなかった場合は国庫補助分を起債として実施する方針である。
- ・ 起債となることにより、町の実質負担額が5億円増となり、原子力立地給付金相当協力期間の5年延長とする、町民の皆様に協力を求めるという形で対応することを検討。
- ・ R10年4月開校を目指して進めていく方針である。

[委員長]

「ご説明ありがとうございました。今の説明について質問や確認することなどはありますか。」

[委員]

「総事業費約57億円で5億円増えるということになるのでしょうか。」

[事務局]

「総事業費については変わらずに、その中の国からの補助金として5億円を見込んでいたものがもらえなくなる可能性があり、その分を町から負担することになるということです。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第24回会議 議事録

[委員]

「建設費、資材費、人件費などが高騰をしているご時世ですので心配があります。」

[事務局]

「もう一度補助金を申請しなおすとなった場合、事業が一年遅れるということになります。そうなるとう工事費の高騰が重くのしかかるというのもあり、なるべく完成年度をずらさないようにすすめたいと考えております。工事費は野辺地小新築事業計画の予算の中で収まるようにしてもらいました。」

[委員]

「委員会が始まった当初から、今回の小学校は適正規模、適正配置で進んできました。できるだけ変えない方向で進んでいただければ安心できます。」

[委員長]

「他に質問がないようですので、ここで進行を事務局にお返しいたします。」

[事務局]

「皆様ありがとうございました。先ほど説明いたしましたが、4月の内示でフロー図のような流れになっていく予定です。皆様にはそのようにご理解いただきたいと思います。」

「続きまして案件(3)に移りたいと思います。案件(3)は答申となります。令和5年の第11回検討委員会では、教育長から検討委員会に対し、統合小学校新築事業の基本設計・実施設計の検討について諮問されました。

その後、設計業務の受託者が株式会社石川設計様に決定し、本年度は実施設計の検討について委員の皆様にお集まりいただき、会議を重ねてまいりました。

諮問に対する回答といたしまして、委員長から教育長に、今回のまとめを添付した実施設計に関する答申をしていただきます。それではよろしく願いいたします。」

[委員長]/答申書読み上げのあと、答申書を教育長へ渡す

[事務局]

「それではここで、委員長、教育長から一言いただきたいと思います。まずは委員長からよろしく願いいたします。」

[委員長]

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第24回会議 議事録

「令和5年度から始まりました本検討委員会ですが、私自身は令和7年度から参加をさせていただきました。今まで24回もの会議で協議を重ねて、今日、ご覧のような素晴らしいプランを見させていただき、とても夢や希望があるなといった気持ちです。こういった環境で子供たちが学べるというのは本当に素晴らしいことだと思います。この校舎の中でどのような教育をしていくか、来年度から野辺地小、若葉小の先生方と協議していくことになっています。野辺地の小学校が統合され、これからの野辺地の将来を担う子供たちを育てるために、ご協力いただければと思います。」

[教育長]

「皆様改めましてこんばんは。年度末の慌ただしい中、お集まりいただきありがとうございます。昨年度末に基本設計の答申をいただきました。今年度はより詳細な実施設計について話し合ってくださいました。令和5年度からはじまりこのように長い時間をかけて、子供たちが安全安心に学校生活を送れるようにと、たくさんのご意見を反映した良い学校になるだろうと思います。模型やパース図で学校を見るととてもわくわくし、期待が高まります。先ほど答申書をしっかりといただきましたので、本検討委員会は最後の会議となります。皆様、長い間ありがとうございました。」

[事務局]

「それでは最後の案件となります。事務局より案件(4) そのほか【資料4】今後の見通しについてご説明いたします。」

「皆様お疲れさまでした。令和5年から全24回の検討委員会を無事に終えることができ、本当に皆様のご協力のおかげでここまで進めることができました。ありがとうございます。それでは【資料4】今後の見通しについてご説明いたします。」

[事務局]/資料4 説明

- ・ 令和8～9年は工事がメインとなり、本委員会の開催の予定はなし。
- ・ 委員の任期は校舎の共用開始日までとなり、継続、解嘱について今回は実施しない。
- ・ 今後の進捗内容はメールで連絡する。
- ・ 工事スケジュールの確認。令和10年度4月校舎供用開始予定。

[事務局]

「それでは、本日の会議を持ちまして野辺地小新築事業検討委員会の全行程は終了となります。委員の皆様には基本構想の策定から長きにわたり、ご協力いただきまして大変ありがとうございました。町では子供たちの安心安全な校舎環境確保に向けて、早期の工事着手を進めていきたいと考えております。今後とも何かの機会でご協力いただければと思います。それでは以上を持ちまして

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第24回会議 議事録

検討委員会を終了といたします。大変お世話になりました。」